

JBA ヘルスケア研究会 各位

## 2022 年度 JBA ヘルスケア研究会 WG メンバー募集要領

WG 活動期間	: 2022 年9月~2023 年3月
WG の開催	: 月1 回程度
募集期間	: 2022 年8月8日~31日
募集人数	: 20名程度 《研究会同一参加機関からは原則2名まで》
WG 活動計画	: 次項以降に記載
申し込み先	: JBA ヘルスケア研究会事務局
E-mail	: 橋本伸二 <hashimotosnj@jba.or.jp>

2022 年8月吉日

JBA ヘルスケア研究会幹事会

## 【2022年度 JBAヘルスケア研究会 WG活動計画】

### (1) 前年度までの活動：

WGでは次代のヘルスケア基盤となる、未病領域を主たる対象とした「健康のものさし」構築のプロジェクト化を目指し活動をしてきている。

2021年度のWGでは、健康因子の展開（3次展開まで）と因子間の関係性をツリーにまとめてきている。

また、最新の因子の計測方法・計測機器（開発中含）についても情報収集を行っている。

参照： B&I 誌 2022 vol.80 P340～343

### (2) 本年度活動内容：

本年度は、「健康のものさし」構築と展開に際して、昨年度までの検討で明らかになっている次の6つの課題について、その領域で先進的取組を行っている機関（企業）のキーマンを毎回WGに迎えて、取組事例を学び且つ課題解決に向けたアプローチ方法を討議、文書化する。

- 課題1 モデル化（最適な出力を導くエンジン）
- 課題2 システム化（次代の情報プラットフォーム上に構築）
- 課題3 因子データの取得方法（マイクロチップ、センサー等々）
- 課題4 運用体制
- 課題5 ビジネス展開
- 課題6 医療との連携

### (3) WGの開催要領：

前半 30～45分をゲストによる事例紹介

後半 45分～60分をパネルディスカッション

（パネラーは毎回予めWGメンバーから希望

募り、テーマに合わせた討議用パネルを用意して実施）

\*毎回、WGとしてテーマ課題へのアプローチ方法を明文化する。

(4) WG 開催案 (ゲスト候補案 含)

- WG キックオフ 9月14日(水) 16:00~17:00  
【teams オンライン開催を予定】

---

\*開催順は、ゲストの方との調整が整った企画から実施を行う\*

\*第2回までは、ゲストの内諾済\*

\*当面は各回共 teams オンラインの開催を予定しています

- 第1回 開催候補日：10月26日(水) PM  
対象 : 課題1に対して  
ゲスト : DataRobot 社  
紹介いただく事例：  
《COVID-19 重症化予測モデル》  
トピックス：モデルは随時更新、インプットデータは随時追加  
データ不備自動検出機能  
参照 : [DataRobot Japan website](#)
- 第2回 開催候補日：11月16日(水) PM を予定  
対象 : 課題2、4、5に対して  
ゲスト : Salesforce 社  
紹介いただく事例：  
《クラウドプラットフォーム、クラウドアプリを使った  
デジタルソリューション》  
トピックス：富士通と協業開始(医療電子カルテ情報と連携)  
参照 : [Salesforce website](#)
- 第3回 対象 : 課題3に対して  
ゲスト : 【候補】 産総研/NEDO  
紹介いただく事例：
- 第4回 対象 : 課題4、5に対して  
ゲスト : 【候補】 ヘルスケア代表企業  
及び異業種参入企業  
紹介いただく事例：

- 第5回 対象 : 課題5、6に対して  
ゲスト : 【候補】内閣府、経産省、厚労省、  
紹介いただく事例 : 「バイオ戦略フォローアップ」
  
- 第6回 総括

(5) WG 開始時期/期間/開催回数 (案):

開始時期 : 2022年9月  
期間 : 2022年9月～2023年3月  
開催回数 : 6回(キックオフ含む) + 総括 計7回  
\*月1回の開催を予定\*  
開催時間 : 各回 100分(90分 +まとめ10分)

\* 補足 \*

● JBA ヘルスケア研究会

[https://www.jba.or.jp/activity/adv\\_biotech/study\\_group/healthcare/](https://www.jba.or.jp/activity/adv_biotech/study_group/healthcare/)

JBA ヘルスケア研究会 WG 活動基本方針

【提案プログラム】

健康状態（フレイル度）を見守り、パーソナリティに適した健康維持増進をサポートする社会の実現

【提案プロジェクト】

- ① 「健康のものさし」の構築
- ② 健康を支える全てのステークホルダーが  
参画・利用できるプラットフォームの構築（バイオ戦略 市場領域⑤）
- ③ （長寿社会において持続的に）健康に暮らせる人が多いまちづくり

● NEDO T S Cより公開された「人間情報応用分野技術戦略策定に向けて」

<https://www.nedo.go.jp/content/100928247.pdf>

● WHO 健康の定義

| WHOにおける健康の定義 |

**"Health is a state of complete physical, mental and social well - being and not merely the absence of disease or infirmity."**

『健康とは、完全に、身体、精神、及び社会的によい（安寧な）状態であることを意味し、単に病気ではないとか、虚弱でないということではない』

